

5. 土壤調査の資料がほしい

1) 土地分類基本調査（国土調査）

実施機関は国土交通省で、5万分の1の地形図をもとに、図幅単位で作成し、図示しています（図3 土地分類基本調査の表紙）。

長野県の進行状況は約60～70%終了していますが、全国的にみて低く、他県ではほとんど終了しています。また県内には土壤調査ができる職員は2～3名程度で、報告書の作成や成果の活用などの上から**人員の早期養成が必要です**。職員の確保は成果を活用する上で欠かせない事項であり、せっかくの成果が宝の持ち腐れにならないようにしたいものです。

成果の現況を図4に示しました。利用してください。

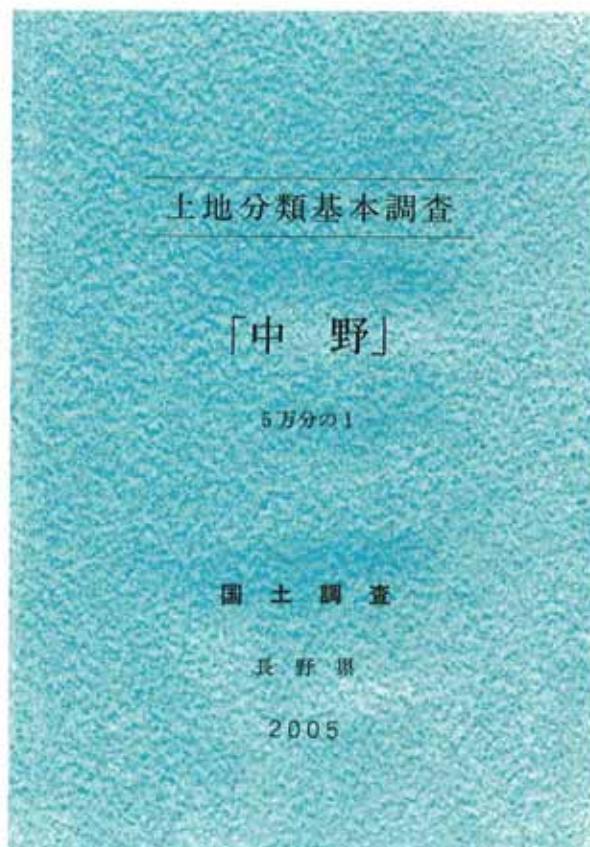


図3 土地分類基本調査の表紙

土地分類基本調査の実施状況
(縮尺1/50,000)

		高田東部		松之山温泉	
		小滝	妙高山	飯山	苗場山
立山	白馬岳	戸隠	15	中野	岩菅山
槍ヶ岳	大町	長野	48	須坂	草津
上高地	信濃池田	坂城	62	上田	軽井沢
乗鞍岳	松本	和田	63	小諸元	御代田
御嶽山	塩尻	諏訪	4	蓼科山	十石峠
加子母	木曾福島	伊那	7-9	高遠	13-14
	上松	赤穂	10-12	市野瀬	
	妻籠	飯田	41	大河原	
	中津川	時又		赤石岳	
	根羽	満島		井川	

事業完了区域
16年度実施区域

事業実施年度

(長野県の国土調査：平成16年度長野県農政部農村整備課 平成16年)

図4 土地分類調査の実施状況

2) 民有林土壤調査事業（適地適木調査事業）

長野県の民有林適地適木調査事業は1～17報あり、長野県林務部発行で終了しています。図面の縮尺は5万分の1です（図5）。



第1報：下伊那南西部地区
第3報：佐久南部地区
第5報：下伊那北部地区
第7報：更埴地区
第9報：上田地区
第11報：上高井地区
第13報：安曇北部地区
第15報：長野地区
第17報：松本地区

第2報：下伊那南東部地区
第4報：木曾北部地区
第6報：安曇南部地区
第8報：佐久北部地区
第10報：木曾南部地区
第12報：高水地区
第14報：上伊那地区
第16報：諏訪地区

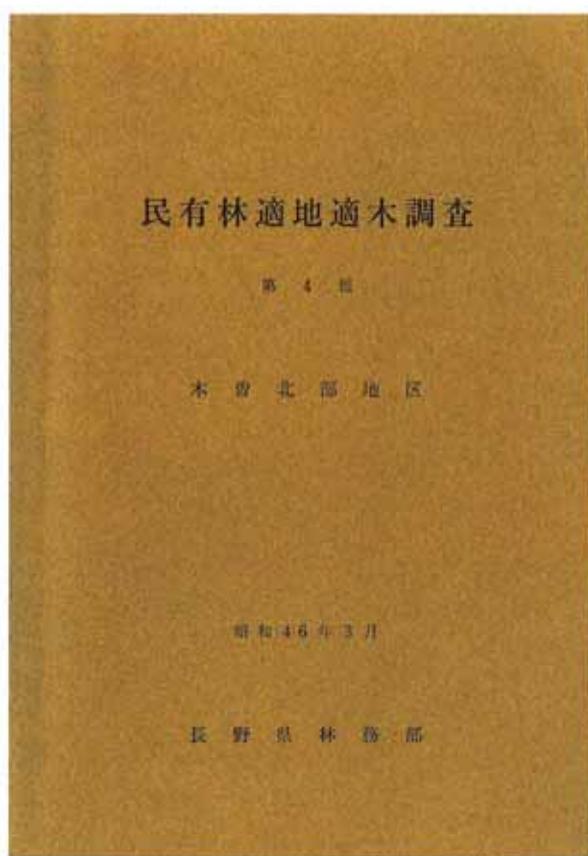


図5 民有林適地適木調査の表紙

3) 国有林土壤調査事業

実施機関は林野庁・各管理局です。縮尺2万分の1で、各管理局により管内全域完了や、林業対象地のみなどがあります。

日本の森林土壤の分布は、民有林で褐色森林土78%、黒色土12%、国有林で褐色森林土72%、黒色土7%です（有光一登：森をささえる土壤の世界 林業改良普及双書152 2006）。

長野県の国有林では褐色森林土62%、ボトゾル12%、黒色土12%です（長野営林局計画課：長野営林局管内の森林土壤 1965）。